

革命的“三崎祭”に向けて

来たる8・9・10日の三日間、スト買断140余日の学生闘争において、我々学生の主体的な“三崎祭”を開催する。我々は斗争の一環として革命的“三崎祭”を意義づけ、成功させねばならない。過去の三崎祭は、古田体制の枠内における数種の学園祭でしかありえなかった。“古田体制打破”の学園民主化して闘われている日大斗争は、我々学生の勝利的な斗争の展開として位置づけられてきた。この意味において“三崎祭”を新展開させ、更に古田体制を破壊せねばならない。全ての日本大学共闘会は“三崎祭”に参集し、革命的“三崎祭”を新展開させようではないか。

10・31 古田発言糾弾

— 古田理事会の居直りを許すな —

10月31日の古田発言において、93年度予算を決めるの検討委員会開かれた。その結果として、5260万円（前年度決算より約40億円増）に上り予算が決定された。これは、景気回復の経済政策で古田は「10月中には決案を終了予定」と述べた。これは、2週間経たないで決まると、これが決まるまでは理事の責任である。

その後の理事会での臨時決議決定を實質的に“自決”と見做すことは許さねばならない。そしてまた、この発言の裏には、景気回復は、これまでの我々の斗争展開に対する、一時的な経済政策を思い起こせば、このような答動によるかばいがある。

我々は再三、再回乳切り続ける古田理事会に對し、糾弾として参加せねばならない。